

文化・芸術

「黒いコート」

1942年1月、油彩、カンバス
70.0cm×52.0cm（個人蔵）

松本竣介

（1912～48年）

深紅の背景に、黒いコートと手袋を身に着けた手が強調されています。匿名的でありながら確かな存在感を放つ人物像。磨き上げられたマチエールによって画面全体に普遍的な雰囲気が生まれています。

本作は1942年2月に開催された第2回個展の出品作です。ほぼ同構図の素描「人物（黒いコート）」（岩手県立美術館蔵）があり、当館所蔵の「婦人像」（42年1月）との関連も検討されてきました。

モディリアニらからの影響が色濃い初期の「婦人像」に比べ、画家の表現がより自立し成熟を示しています。（小此木）

〈名画の扉〉

大川美術館企画展「リニューアル
記念展 エコール・ド・パリの画家
たちと松本竣介」から

